※令和４年度以降入学生用

学校番号	1203

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	表計算演習 II	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集　２・準２級編（日本情報処理検定協会） 情報処理技能検定試験 表計算 模擬問題集　１・準１級編（日本情報処理検定協会） 自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表計算ソフトウェアの利用を通して、２年次「表計算演習Ⅰ」での既習内容よりも発展的な知識理解と技術の習得を目指します。身に付けた知識と技術を用いて、自ら考え、判断し、表現する学習を行います。
・授業は実習形式を中心に行い、授業の最後には何を学びどのようなことを身に付けたのかの振り返りを行います。課題への取り組み状況、実習作品、定期考査で評価します。日々の取り組みが大切です。
・日本情報処理検定協会「情報処理技能検定試験（表計算）」の内容を扱うので、資格取得にもつながります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・表計算ソフトを活用するためのより専門的な知識や技能を身につける。
・関数やグラフを用いた効果的なデータ活用や、データベースを用いたデータ分析について理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
・表計算ソフトを活用して適切なデータの収集や整理、処理、分析の方法について考えることができる。
・情報デザインの考え方に基づいたデータの表現方法について考えることができる。
・問題の発見・解決のために、データに基づいて科学的に考えることができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・実践的・体験的な学習活動を通して、客観的な指標を基に判断する力を身につけ、自らの考えを元にした適正な解釈を行い、問題の解決に向かって取り組もうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・表計算ソフトを活用するためのより専門的な知識や技能を身につけている。 ・関数やグラフを用いた効果的なデータ活用や、データベースを用いたデータ分析について理解している。	・表計算ソフトを活用して適切なデータの収集や整理、処理、分析の方法について考えている。 ・情報デザインの考え方に基づいたデータの表現方法について考えている。 ・問題の発見・解決のために、データに基づいて科学的に考えている。	・実践的・体験的な学習活動を通して、客観的な指標を基に判断する力を身につけ、自らの考えを元にした適正な解釈を行い、問題の解決に向かって主体的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
１学期	表計算ソフトフェアの応用的な利用	表計算検定　２級	a:応用的な関数や多重判断文を使ったデータ処理について理解している。 b:データに応じた表示形式やレイアウトを適切に判断することができる。 c:表計算ソフトウェアを利用した実習について、意欲的に粘り強く取り組もうとしている。	ワークシート 実習課題 実技試験	ワークシート 実習課題 実技試験	授業観察 実習課題 振り返り
		表計算検定　準１級	a:関数を複数組み合わせたり、データベース関数を使ったデータ処理について理解している。 b:データに応じて表示形式やレイアウトを適切に判断することができる。 c:表計算ソフトウェアを利用した実習について、意欲的に粘り強く取り組もうとしている。			
２学期	表計算ソフ	表計算検定　１級	a:関数を複数組み合わせたり、データベース関数と多重判断条件を使ったデータ処理について理解している。 b:データに応じて表示形式やレイアウトを適切に判断することができる。 c:表計算ソフトウェアを利用した実習について、意欲的に粘り強く取り組もうとしている。	ワークシート 実習課題 実技試験	ワークシート 実習課題 実技試験	授業観察 実習課題 振り返り

※令和４年度以降入学生用

	トフェアの応用的な利用	応用的なグラフ作成と分析１	a:表計算ソフトウェアやインターネット上の情報を活用して統計処理を行い、伝えたい情報にあった適切なグラフを作成できる技能を身に付けている。 b:情報を効果的に分析するためにどのような形のグラフを利用すべきか説明することができる。 c:収集したデータなどを表計算ソフトウェアを利用して統計処理を行い、グラフ化する活動に対し、意欲的に取り組もうとしている。			
３学期	情報の分析と活用	応用的なグラフ作成と分析２	a:表計算ソフトウェアやインターネット上の情報を活用して統計処理を行い、伝えたい情報にあった適切なグラフやクロス集計表を作成できる技能を身に付けている。 b:情報を効果的に分析するためにどのような形のグラフや表を利用すべきか説明することができる。 c:収集したデータなどを表計算ソフトウェアを利用して統計処理を行い、グラフ化する活動に対し、意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 実習課題 実技試験	ワークシート 実習課題 実技試験	授業観察 実習課題 振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度